

平成19年8月

油津港港湾計画改定に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、宮崎県によって計画された平成30年代半ばを目標年次とする油津港の港湾計画改訂について、その安全性を検討評価するとともに、安全対策を取りまとめた。

主な検討内容としては、油津港港口部の東ルートから入港する船舶が利用している導灯を継続利用することについて、改訂された防波堤延伸との関係をファストタイム操船シミュレーションの手法を用いて検討し、東ルート利用可能船舶とその注意事項を提示した。

また、東(外)防波堤延伸改訂に伴う大型貨物船の入港操船の安全性及び東地区ユニットロード(−9m)岸壁利用船並びに西地区バルク貨物(−5.5m)岸壁利用船の入出港の安全性等についても検討した。

この委員会における検討は、改訂計画に対する有効かつ最低限の安全性を確認したものであり、計画実施にあたっては具体的な施工方法等の立案段階で、工事と通航船舶の安全対策を検討することが必要であり、供用開始にあたっては具体的な入出港基準等をはじめとする運用上の詳細な安全対策を検討するよう提言した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 港湾計画(改訂)の概要
- (3) 航行環境
- (4) 安全性の検討
- (5) 航行安全対策